

スモールコンセッションプラットフォーム 現地視察ツアー（山形市）

政府は、遊休公的施設を活用した官民連携による地方創生を図るため「スモールコンセッションプラットフォーム」を設置し、地域課題の解決やエリア価値向上等を図るスモールコンセッションを推進しています。この度、スモールコンセッションの取組事例を実際に現地で視察することで、取組の理解の促進や具体的な案件形成に向けた契機の創出を目的として、山形県山形市での現地視察ツアーを実施します。

日時

2025年
8/29(金)～30(土)

参加申込はこちら▼

参加費

無料※ 参加に伴う旅費・宿泊費・食費等は
ご自身の負担となります。

定員 40名程度

<https://forms.office.com/e/h2U8QhmgjQ>

集合場所

JR山形駅東口(12:00)

申込締切

7/31(木)17:00

内容

本ツアーでは、**山形市内に点在する複数事例を実際に見学**していただくと共に、**市職員や施設担当者からの説明や質疑応答**の時間を設け、スモールコンセッションに関する理解促進を目的としています。実業務への参考や情報獲得の機会として是非ご活用ください。また本ツアーを通じて、参加された会員同士の交流も深めてください。

参加者

スモールコンセッションプラットフォーム会員
(会員の方であればどなたでも参加できます)

参加に関する連絡事項

- ✓ 参加の可否については、**8月2週目**を目途にご連絡いたします。
- ✓ 参加希望者が定員を上回った場合は、抽選とさせていただきます。
- ✓ 希望者には、宿泊先として「山形グランドホテル」を手配いたします。手配を希望される方は、参加申込フォーム内の設問にてその旨をご回答ください。
※ 宿泊費は自己負担となります。
- ✓ 当日は貸切バスでの移動となるため、途中参加は出来かねますので、ご了承ください。

プログラム

	時間	視察先
1 日 目	12:00	JR山形駅東口 集合
	12:05～ 12:15	①KASUMI TERRACE
	12:50～ 14:20	②シェルターインクルーシブ プレイス コパル
	14:40～ 15:30	③道の駅 やまがた蔵王
	16:00～ 16:30	④山形まるごと館 紅の蔵
	16:45～ 17:45	都市の変化を体感する市街地開 発スポット巡り(ガイド:馬場氏)
	18:00	⑤やまがたクリエイティブ シティセンターQ1(1日目解散)
2 日 目	10:00～ 10:30	馬場氏によるQ1の施設案内
	10:45～ 12:00	山形市畑口部長による山形市の 公民連携施設整備の講演

※プログラムは調整中のため、今後変更となる可能性があります。

施設ガイド

1日目(8/29)「都市の変化を体感する市街地開発スポット巡り」
2日目(8/30)「やまがたクリエイティブ シティセンターQ1」



馬場 正尊 氏
東北芸術工科大学
デザイン工学部建築・
デザイン学科 教授
オープン・エー代表取締役

博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2003年OpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行い、同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。2015年より公共空間のマッチング事業『公共R不動産』立ち上げ。2017年より沼津市都市公園内の宿泊施設『INN THE PARK』を運営。

基調講演

2日目(8/30)「山形市における公民連携による施設整備について」



畑口 和久 氏
山形市総務部長

1988年山形市役所に入庁。2019年に企画調整部門に異動後は、市立第一小学校の旧校舎を活用したQ1プロジェクトに携わり、旗振り役として事業を推進。東北芸術工科大学と協力しながら公民連携により創造都市やまがたの拠点施設「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」として再整備。Q1のほか、道の駅やまがた蔵王の整備や公民連携提案窓口「山ハブ」の開設など数々の公民連携を手がける。

視察先施設概要

①KASUMI TERRACE

2025年7月にオープン。Park-PFI制度を活用し中心市街地の回遊性を高め、新たな賑わいを創出するため整備された、駅前公園内にあるイタリアンダイニング。昼はカフェとしても営業する。



②シェルターインクルーシブプレイス コパル

2022年オープン。障がいの有無・年齢・国籍を超えて誰もが利用できるインクルーシブな児童遊び場。PFI法に基づき、指定管理者である民間事業者が維持・管理業務を担う。2022年度グッドデザイン賞受賞。



③道の駅 やまがた蔵王

2023年開業。地域外から人を呼び込むゲートウェイ、観光拠点として整備された道の駅。山形市初のDBO方式により整備され、事業者が公共資金で設計・建設、運営・維持管理まで一括で実施。多目的ホールや広場、EV充電等を備える。



④山形まるごと館 紅の蔵

2025年にリニューアルオープン。山形ブランドの魅力発信、中心市街地の活性化を図るため、江戸期の蔵屋敷を活用した観光複合施設。地元特産品の販売所や手打ちそばカフェなどを備える。



⑤山形クリエイティブシティセンター Q1

2022年開業。山形市立第一小学校旧校舎を活用し再整備した。山形市と地元大学が連携協定を結び立ち上がった、株式会社Q1が、企画・設計から運営までを一気通貫で実施。「クリエイティブと産業をくらしでつなぐ。」をコンセプトに、創造都市やまがたが世界との交流を図るための情報発信拠点、まちの芸術文化と産業経済をつなぐプラットフォームとしての役割を果たしている。

地下1階～地上3階の全4フロアに、多様なショップやオフィス、キッチンスペース、シアタースペース、イベントスペース等の施設を備える。



スモールコンセッションプラットフォーム会員の申込

<https://forms.office.com/e/cWTyUbYyJK>

民間企業・団体、地方公共団体、関係府省庁等は部署・支店単位でも会員になれます。また、**個人でも**会員になれますので、積極的なお申し込みをお待ちしています。



【スモールコンセッションプラットフォーム事務局・お問い合わせ先】

- 国土交通省総合政策局社会資本整備政策課
- 内閣府民間資金等活用事業推進室

TEL:03-5253-8111

Email: hqt-smcn_pf Σ gxb.mlit.go.jp ※「Σ」を「@」に置き換えてください。